



プロに学ぶ演芸・演劇

芸術文化による子供育成 総合事業

今秋、文化庁主催の「文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)」が行われました。プロが学校を巡回し、公演やワークショップを通じて文化の担い手となる子どもの育成を目的とした本事業。今年度は上富小学校で落語と講談、竹間沢小学校で演劇を実施。本物の芸術文化に触れた子どもたちには、貴重な体験となりました。



↑ワークショップで、子どもたちはプロの本格的な指導を受けました。



↓役場で記念撮影。コロナ後の未来を一緒に考えました。



コロナ後の未来へ向けて 建築家隈研吾氏が来庁

12月9日(水)、国立競技場の設計に携わった建築家 隈研吾氏が来庁し、コロナ後のまちづくりに関する意見交換などを行いました。コロナ禍において、建築物とまちづくりに求められる自然との調和や、持続可能性など、様々な観点から今後のまちづくりについてのお話をいただきました。これからも、さらに豊かに暮らすことができる三芳町をめざしていきます。

↓タイトルは「オンラインで通う心」。ぜひスマホで視聴を!



共生社会を考えるきっかけに オンラインの取組みの紹介動画完成

プロ音楽家集団「ザ・シンフォニエッタみよし」の有志メンバーによる無観客コンサートの生配信や、コミュニケーションを題材とした映画「スタートライン」の町HPでの限定公開。町のこれらのオンラインの取組みを紹介する動画が完成しました。共生社会とオンラインの可能性を考える内容になっています。ぜひ、ご覧ください。



チューリップで さらに深まる友情

オランダチューリップ 植栽式

オランダ大使館より1,000個のチューリップが寄贈され、11月30日(月)に役場敷地内で植栽式を行いました。チューリップの花言葉は「おもしろい」。春頃には10種類のチューリップが色鮮やかに花を開き、オランダとホストタウンである三芳町の友情がさらに深まることでしょう。



↑オランダチームがキャンプ中交流した淑徳大学女子柔道部も参加。

↓実物の聖火トーチを間近で見られる展示ブース。



三芳を駆け抜ける実物トーチ 聖火リレートーチの展示

11月26日(水)に役場1階ロビーで東京2020オリンピック聖火リレーのトーチが展示されました。この展示は県内市町村を巡回展示しているもので、三芳町での1日限りの公開に訪れた来庁者は291人。桜をモチーフとしたデザインや、ピンクがかった桜ゴールドの輝きのトーチを目に焼き付けました。トーチは来年7月6日(火)の聖火リレーで三芳町を駆け抜けます。

↓こすず幼稚園の年長さん48人が三芳町役場に来庁しました。



日頃の公務に感謝を伝える こすず幼稚園表敬訪問

11月11日(水)、勤労感謝の日に合わせて、こすず幼稚園の子どもたちが三芳町役場を訪問。似顔絵入りの感謝状と花束を町長に贈り、日頃の業務への感謝の気持ちを伝えました。めったにない町長と話す機会に、たくさんの質問をする子どもたち。その後、子どもたちは7階の展望ロビーや議場などを見学。初めて見る役場の内部に目を輝かせていました。